



## 「<sup>かんだち</sup>神立～神になった男 MICHIZANE」

—身体と音、光、映像がコラボする新感覚のパフォーミングアーツ！—

### 概要

九州大学大学院芸術工学研究院では、一般の舞台芸術経験者を対象とした人材育成事業「芸工パフォーミングアーツ・プロジェクト」を開講しています。昨年9月から行っているワークショップでは、企画立案、構成演出、音響、照明、舞台美術、パフォーマンス等を受講生全員が体験し、最新の芸術工学技術を活用しながら、菅原道真を題材とした作品創造に取り組んできました。その成果を、平成27年2月7日（土）・8日（日）に九州大学大橋キャンパスの多次元デザイン実験棟ホールで発表します。

### 背景

九州大学大学院芸術工学研究院 HME ユニット\*では、平成19年度より、全国の劇場・ホールを効果的に活用できる人材、ホールマネジメントエンジニア（HME）の育成を継続的に行い、ホールの活性化に貢献できる専門人材を多数輩出してきました。

今年度は、育成対象を実演芸術界で活動する多様な人材（パフォーマー、アーティスト、プロデューサー、舞台技術者等）に設定し、パフォーミングアーツを通じて、新しい表現を探求できる人材の育成を行っています。「芸工パフォーミングアーツ・プロジェクト」は、(a) レクチャーシリーズ（全8回）、(b) 実践セミナーシリーズ（全2回）、(c) 実演ワークショッププログラム（全10回+公演）で構成しており、今回の公演は、実演ワークショッププログラムの受講生による成果発表の場です。

なお、本事業は、文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」の一環として、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団の共催により実施しています。

### 内容

福岡に縁ある菅原道真を題材とする新感覚のパフォーミングアーツです。九大芸工の物的・人的リソースを活かし、身体と音、光、映像がコラボする作品が完成しました。

- ・日時：平成27年2月7日（土）開場 17:30、開演 18:00  
2月8日（日）開場 14:30、開演 15:00
- ・場所：九州大学大橋キャンパス 多次元デザイン実験棟ホール
- ・演目：<sup>かんだち</sup>神立～神になった男 MICHIZANE  
公演後、メイキング上映とアフタートークがあります。
- ・構成・演出：中村滋延（九州大学教授・作曲家）
- ・出演・制作：芸工パフォーミングアーツ・プロジェクトワークショップチーム
- ・入場料：全席自由 前売り 一般 500円（当日 600円）
- ・特設サイト：<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/~hme/MICHIZANE/>

### 効果

本プロジェクトを通じて大学と地域社会が密に連携し、大学の先端的技術とその研究成果を活用したまったく新しい創造活動がゼロから行われました。大学が用意したシナリオどおりに参加者を動かすのではなく、受講生の個性と受講生からの提案を尊重しながら、限られた時間の中で作品づくりを行っています。その場に集う全員が同じ目線に立って様々な可能性を試しながら、創作経過を楽しむワークショップを繰り返すうちに、受講生一人一人が新しい技術を身につけ、互いを知り、自分が貢献できる分野と方法を考えるようになっていきました。

またプロジェクト受講生の呼びかけにより、当初、大学側が計画したよりも幅広い協力を得ることができ、クオリティの高い舞台作りが行われています。照明プランもインタラクティブシステムも実績あ

る会社に関わっていただくことができました。大学単独でも、また有志だけでも行えないような試みが、今ここで実現しようとしています。

本プロジェクトは、今後九州大学が「社会とともに発展する大学」であるために必要な第一歩であるといえます。技術のための技術、研究のための研究のみを追求するのではなく、大学が地域社会に真に開いた教育研究機関となるためには、大学が磁場となり、たくさんの人が交わりながら互いに成長できる場を作り出していくことが求められています。

## ■今後の展開

「芸工パフォーマンスアーツ・プロジェクト」 振り返りシンポジウム

- ・日時：平成27年3月22日（日）14時（予定）
- ・場所：九州大学大橋サテライト「ルネット」（西鉄大橋駅前）

## ※参考

HME（ホールマネジメントエンジニアリング）ユニット

芸術創造と人材育成の二つの部門から成る教育研究ユニットです。芸術創造部門では、時代と場所のニーズに合った新しい芸術コンテンツおよび新しい芸術場づくりを行っています。人材育成部門には、学生向けと社会人向けの参加型プログラムがあります。

代表は、芸術工学研究院教授の尾本章です。詳細は以下のWebサイトをご参照ください。

Webサイト <http://www.design.kyushu-u.ac.jp/~hme/AME/>

### 【お問い合わせ】

HME ユニット事務局 高坂（学術研究員）

電話：092-553-4552

FAX：092-553-4552

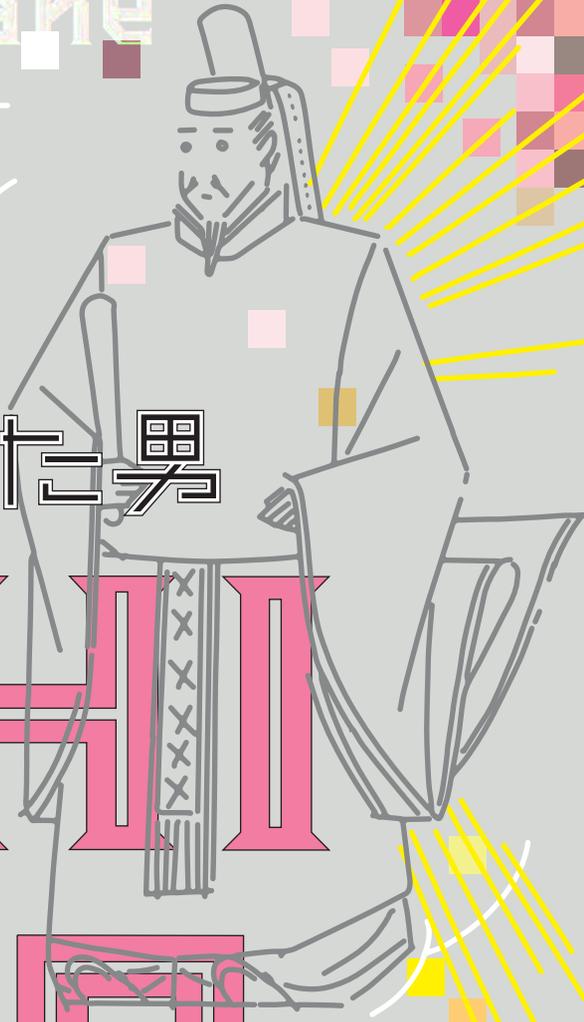
Mail：[hme@design.kyushu-u.ac.jp](mailto:hme@design.kyushu-u.ac.jp)

MICHI  
ZANE

身体と音、光、映像がコラボする  
新感覚のパフォーミングアーツ!

芸工パフォーミングアーツ・プロジェクト公演

神<sup>かんだち</sup>立 ~ 神になつた男



MICHI  
ZANE

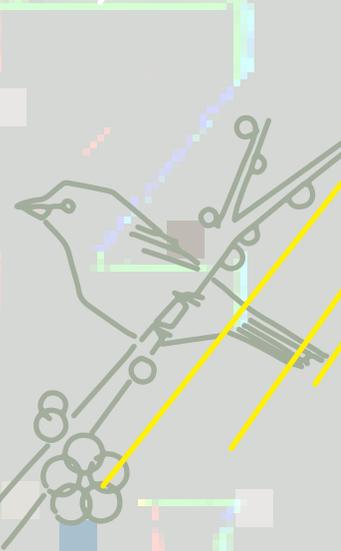
2015年 2/7<sup>土</sup>・2/8<sup>日</sup>  
OPEN 17:30 START 18:00    OPEN 14:30 START 15:00

会場 九州大学大橋キャンパス 多次元デザイン実験棟ホール  
(西鉄大牟田線、西鉄バス大橋駅下車 徒歩5分、JR竹下駅 徒歩10分)

入場料 全席自由・前売500円(当日600円)  
[チケット取扱]  
チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:440-762)  
文化芸術情報館アトリエ 092-281-0081  
アクロス福岡チケットセンター 092-725-9112  
ちけっとぼーと(福岡パルコ5F) 092-235-7223  
スリーオクロック 092-732-1688 <http://www.3pm-net.com>

主催 九州大学大学院芸術工学研究院HMEユニット  
共催 (公財)福岡市文化芸術振興財団  
後援 福岡県、福岡市  
協力 anno lab、アクトワン、照明屋(九州大学)、TRP(九州大学)  
平成26年度文化庁 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業(特色ある文化芸術活動推進事業)

お問い合わせ 九州大学大学院芸術工学研究院HMEユニット事務局  
Tel 092-553-4552 E-mail [hme@design.kyushu-u.ac.jp](mailto:hme@design.kyushu-u.ac.jp)  
<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/~hme/AME/index.html>



芸工パフォーミングアーツ・プロジェクト公演

かんだち

# 神立～神になった男

# MICHIZANE

学問の神様「天神様」として知られる菅原道真は、実は政敵の謀略で大宰府へ左遷、失意のうちに憤死して怨霊となった。

その道真の祟りに恐怖した朝廷による名誉回復への物語を、最先端の技術による音響・映像・インタラクティブシステムを駆使したパフォーミングアーツとして上演します。いにしへのドラマが時を超えて紡がれるファンタジーの世界をお楽しみください！

## 第一部 作品「神立～神になった男 MICHIZANE」

## 第二部 メイキング上映とアフタートーク

構成・演出：中村滋延

出演・制作：芸工パフォーミングアーツ・プロジェクトWSチーム

伊藤洋子、岩谷成晃、岩橋充世、大内田早穂、小山田紘子、春日遥香、  
仮屋祐一、木下寿美子、木下次雄、武井高之、田中裕也、中井幸子、  
中園陽一、林由佳、前原寿代、村松陽子、宮原一枝、原千波、山下朱美、  
余瀬晶子 〈50音順〉

ワークショップディレクター：中村滋延

ワークショップ・公演アドヴァイザー：山田修三

音響指導：檜垣智也

振付指導：宮原一枝 (Dance工房 ハエちち主宰)

照明指導：内田正信 (アクト ワン)

インタラクティブシステム指導：岩谷成晃 (anno lab)

舞台美術指導：津田三朗

衣装協力：浜井弘治 (うるとらはまいデザイン事務所)

HMEユニットスタッフ：高坂葉月、多田陽子、石上洋明

制作統括：尾本章

### 「芸工パフォーミングアーツ・プロジェクト」について

「芸工パフォーミングアーツ・プロジェクト」は、九州大学大学院芸術工学研究院 HME (ホールマネジメントエンジニアリング) ユニットが主催する平成 26 年度の人材育成事業です。実演芸術界で活動する多様な人材 (パフォーマー、プロデューサー、舞台技術者など) を対象とし、レクチャーとワークショップを通じて、新しい知見とスキルを修得していただくことを目的としています。

10 回のワークショップでは、企画立案、構成演出、音響、照明、舞台美術、パフォーマンス等を受講生全員が実際に体験しながら、一つの作品を創造していきます。分野を越えた共同制作によって、舞踊・演劇・音楽・美術・映像・メディアアート・芸術工学を効果的に融合させた新しい表現世界が切り拓かれました。本公演は、このプロジェクトの成果発表公演となります。

詳しくはこちら  
〈公演特設ページ〉をご覧ください



写真提供 anno lab



ワークショップ風景